

## 第2回会津地区フォローアップ研修会



- 目的：家庭教育に関わる地域の課題や子どもたちを受け止める家庭環境づくりについて研鑽を深め、地域で子育てをする親を支援する家庭教育支援者の実践力を高めるとともに、地域の家庭教育支援者の後継者育成を目指す。
- 日時：平成31年2月2日（土）10:00～12:00
- 場所：道の駅あいづ 湯川・会津坂下
- 参加者：59名

### 講演「キラキラ笑顔で☆わくわく子育て」

ファザーリング・ジャパン東北代表理事  
(株)ペンギンエデュケーション代表取締役  
**横田 智史 様**



#### 1 開会式

#### 2 講演 「キラキラ笑顔で☆わくわく子育て」

講師 ファザーリング・ジャパン 東北代表理事 横田 智史 様

##### (1) 自己紹介

- 自身も、地域に身を置いた活動をとおり、自分を見つめ直している。

いろいろなことをやるきっかけは、東日本大震災  
今をどう生きるかを考えるようになった。

**やりたいこと・やるべきこと** ⇒どっちもやる

そのためには、時間の使い方にメスを入れる。

地域消防団員、小学校 PTA 役員…**地域活動を重視**

##### (2) ファザーリング・ジャパンとは

Fathering は、造語。「父親である事を楽しもう」

よい母親にならなくていい…他人と比較しない。

「〇〇みたいにならなくては」と思わなくていい。

お母さん（お父さん）が笑っている…それが、子どもにとって良い。

子どもと向き合い、コミュニケーションを大切にすること。

##### (3) 「創造性が求められる子育て」をどうするか

- **自己肯定感が低い国 日本** ⇒ 自殺・不登校・引きこもりは、大きな社会問題

【北欧諸国の子育てについて】

1日の学びは、子ども達が考える。

教師は、ファシリテーター（子ども達を導く人）

スウェーデンの標準的な家庭の例…父親は15:30仕事を終え、保育園に子どもを迎えに行く。

母親も仕事を終え、買い物をして夕食の準備をする。

17:00頃から、一家揃って夕食をとる。

**このような生活スタイルが当たり前になったのは、40年前に働き方改革をスタートしたから。**

…日本の働き方改革は、まさにこれから。しかし、すでに多くの先進事例があるので、目標到達までの過程は短期間にできるのではないか。



## (4) 働き方改革について

- 「イクメンの星」なんて持ち上げられて…妻から見れば「自分がいつもしていること」「1年中休みなしの家事」…これって当たり前？ **世間の目は厳しい。**
- 昭和の「モーレツサラリーマン」スタイル  
仕事だけをしていればいい、休日の家族サービス  
…自分をダメにするという気づきが必要

### 長時間労働 ≠ 労働生産性

すでに、先進国の労働生産性を示すデータがある。

よりよい家庭生活を営むために、父親の協力は不可欠。

子どもとの関わり…「量」と「質」のどちらも大切。

たっぷりコミュニケーションをとって、子どもを知る。

そのためには、「ママによるパパ育て」が必要。⇒**まずは、パパに任せてみよう！**

**パパキャンプ…参加できるのはパパと子ども達**

**シングル家庭もあるけれど、よその子もみるので大丈夫  
斜めの関係性づくり～人の子も見る・保育園での関係**



## ○まとめ

### 働き方改革＝生き方改革

ライフワークバランスとは、仕事と生活の調和。

仕事上の責任を果たした上で、家庭人・地域人としての生き方を

## ○質問

#### ◆男性の意識をどのように高めればよいでしょうか。

⇒父親の力が必要な場の設定。

地域でもイクメンを育てる意識を持つ。

パパキャンプ等、アクティブ系の活動もおすすめ。

#### ◆心の貧困を、どのようにキャッチすることができますか。

⇒子育て関連施設にいと、服装や清潔にしているか等で見えてくることもある。

話し相手になるだけでも、状況をキャッチする機会となる。

地域のネットワークを構築していくことも、子ども達の助けとなる。



## 5 閉会

### 皆さんの御意見・ご感想



- 改めて、主人が当たり前に家事をしてくれていることに感謝しました。
- 横田先生の講義から、家庭生活は男女共同参画が大切だと思いました。
- とても心に響きました。先生の人望の厚さが伝わり、これからの自分の生き方を改めて考えることができました。  
地域で生きることの大切さを実感し、自分にできることを少しでもしたいと思いました。
- 横田さんの貴重なお話は、自分のためになっただけでなく、ぜひ、多くの方々に聞いて欲しい内容だと思いました。
- 仕事ばかりやっていたので、子どものことが何かわからなかったです。今後は、孫育てにいかしたいと思いました。  
男性にも話を聞いてもらいたいと思います。
- 家庭内を笑顔で過ごすことが一番。他人を羨ましく思う以上に大切だと思い、今からでも、一生家庭を笑顔で包むことを仕事にしたいと思います。
- ワークライフバランスの基礎になる話をたくさんしていただきました。身近な話題があり、大変良かったです。